

近衛邸跡

[東陣]

京都の長い歴史の痕跡は、時に意外な場所で見つかることがあります。そのような場所の 1 つが、同志社大学のキャンパスです。この名声ある教育機関の敷地には、かつての近衛家の邸宅跡を示す石碑など、歴史的に重要な場所がいくつか含まれています。

12 世紀の大臣の血を引く近衛家は、第 2 次世界大戦後に貴族制が廃止されるまで、日本で最も著名な貴族の家系の 1 つでした。彼らは摂政・関白や顧問として宮廷に仕える権利を保持し、天皇と結婚した近衛家の娘も何人かいました。

この一族の邸宅は、16 世紀に御所の北西に位置するこの場所に建てられました。今日、建物の痕跡は残っていませんが、近くの京都御苑国民公園にあるしだれ桜の木は近衛家の庭から移植されたもので、初春の開花時期には多くの訪問者を集めています。